

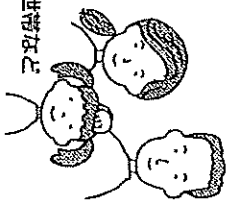
自分らしく生きる



住む

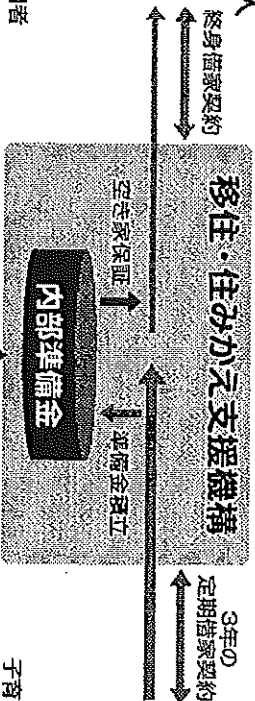
住み替え

家を購入したり、一生に住み続けるといった固定観念が薄れつつある昨今、「病院の近々かい」「駅の近くが……」「息子夫婦の近くだ」「大自然のふれあい」「田舎で両親と一緒に」といった自分たちの「1人」であった「住み替え」を選んだ人が増えてきています。他移住・住み替え支援機構（JTI）・副代表理事のかえ支援センター、副代表理事の斎藤道生さんに「マイホームの有効活用について聞きました。



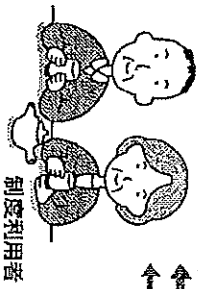
賃貸物件を借りたい人
子育て世帯など

- ・良質な借家の循環
- ・敷金なし。壁紙等自ら一定の改修可能
- ・3年毎に優先して再契約



■マイホーム借上げ制度

マイホームを貸したい人



制度利用者

- ・公的制度に基づく一生涯の家賃収入
- ・3年毎に解約の自由
- ・物件・土地は子供に相続

◆資料請求やカウンセリング

(無料)

JTIが認可したハウジングライフ（住生活）プランナーが、あなたの家を診断します。古い建物などは耐震基準などをクリアする必要もありますが、資格をもったプランナーが相談にのります。

問い合わせ：移住・住みかえ支援機構

◆具体的に検討

(申込手数料1万7850円)

50歳以上のシニア世帯が保有するマイホームを売却することなく、JTIが借り上げる「マイホーム借上げ制度」では、国の基金によるサポートも得て、安定した賃料収入を保証します。家賃は市場より低めになりますが、入居者の有無にかかわらず一定の賃料を受け取ることが可能です。

03・5211・0757(平日午前9時～午後5時)

「今の住まい」 有効活用

団塊世代が現役時に建てたマイホームは、年々かさねてきています。JTIは2006年に発足してマイホーム借上げ制度を活用し、住み替えのニーズが計画しやすいところと、エリアは遠方地を選択する人たちの住まいと距離がある住み替えではなく、近距離でかつ自分たちが入居場所を選ぶ傾向にあります。こうしたマイホームを有効活用することで選択肢が広がるでしょう。

JTIでは査定後、事前にご自宅の貸し出し賃料がわかるため、地方への移住、転居がある方も安心してご検討いただけます。JTIは「使わない部屋がある」「掃除するの大変」といった悩みを聞き、しっかりと悩みを聞き、しっかりと「苦勞して建てたマイホームを売却することには抵抗がある」という人も増えてきています。JTIは2006年に発足してマイホーム借上げ制度を活用し、住み替えのニーズが計画しやすいところと、エリアは遠方地を選択する人たちの住まいと距離がある住み替えではなく、近距離でかつ自分たちが入居場所を選ぶ傾向にあります。こうしたマイホームを有効活用することで選択肢が広がるでしょう。

JTIでは査定後、事前にご自宅の貸し出し賃料がわかるため、地方への移住、転居がある方も安心してご検討いただけます。JTIは「使わない部屋がある」「掃除するの大変」といった悩みを聞き、しっかりと悩みを聞き、しっかりと「苦勞して建てたマイホームを売却することには抵抗がある」という人も増えてきています。JTIは2006年に発足してマイホーム借上げ制度を活用し、住み替えのニーズが計画しやすいところと、エリアは遠方地を選択する人たちの住まいと距離がある住み替えではなく、近距離でかつ自分たちが入居場所を選ぶ傾向にあります。こうしたマイホームを有効活用することで選択肢が広がるでしょう。